潰瘍性大腸炎治療中の患者さんへ

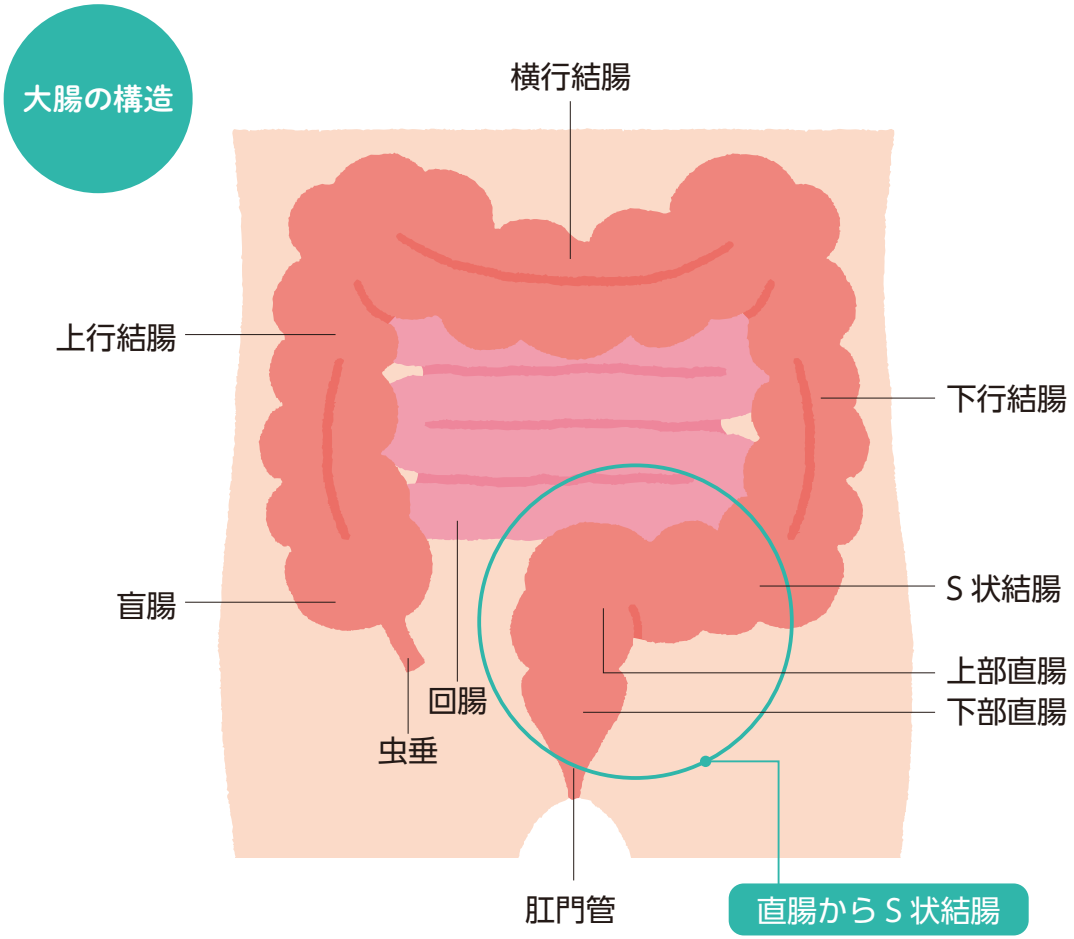
局所療法の重要性について

潰瘍性大腸炎の基本治療は5-ASA（アミノサリチル酸）経口製剤の内服が中心となりますが、大腸の中でも肛門に近い部位は炎症が残りやすいといわれています。そこで、局所製剤を用いた治療（局所療法）を行うことで、お薬が直接炎症部位に届き、症状の悪化を防ぐことが期待できます。
また、症状の悪化を防ぐためには、症状の変化にいち早く気づくことも大切です。本冊子の巻末には、注目していただきたい症状をまとめた『チェックシート』があります。症状の変化のご確認にご活用いただき、現在の症状を主治医の先生に相談してみましょう。

監修：札幌医科大学 医学部 消化器内科学講座 教授　仲瀬 裕志 先生

局所療法とは

潰瘍性大腸炎の局所療法とは、肛門から薬剤を注入し、直腸からＳ状結腸に直接お薬を届ける治療法です。



潰瘍性大腸炎に対する基本治療は5-ASA経口製剤の内服となりますが、大腸の中で肛門に近い部位（直腸からＳ状結腸）は炎症が残存しやすいといわれています[1)]。

また、**潰瘍性大腸炎の炎症は直腸から始まり、全体に広がっていく**のが特徴です。その始まりである**直腸からＳ状結腸の炎症を抑えるために行う**のが、局所療法です。

1) Stobaugh DJ, et al.: Inflamm Bowel Dis. 2013; 19: 301–308

局所療法を行う方法と意義

1 局所療法の方法

炎症した患部に直接届きやすい治療として、直腸には坐剤、直腸からＳ状結腸には注腸剤を用いる方法があります。

局所療法を行うことで、次のような効果が期待できます。

2 局所療法の意義

炎症の広がりを防ぐとともに、直腸からＳ状結腸の炎症を原因とする症状を改善することで、患者さんの生活の質を向上させることが期待できます。

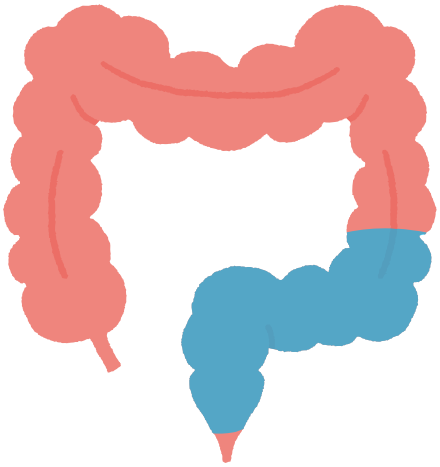
直腸からＳ状結腸の炎症に起因する症状

- 頻回の排便
- 血便、粘血便
- 腹痛
- 便意切迫感（急に強い便意が起こり、我慢することが難しい）
- しぶり腹（便意があるのに便が出ない、または便が出ても少量しか出ない）

症状を悪化させないためにも上記のような症状が見られた場合は早めの治療が大切です。

局所療法を始める前に

局所療法には次のような特徴があります。
治療法を選択する際には、
これらの特徴を把握しておくことが重要です。



- 使用方法が経口剤よりも煩雑ですが、経口剤では届きにくい直腸からS状結腸、下行結腸にお薬を直接届ける方法であり、速い効果が期待できます[2)]。
- 局所に作用することで比較的全身の副作用の軽減が期待できます。
- 薬剤の特徴から、就寝前に使用することを推奨しているお薬もあります。

治療法は症状や炎症の程度などだけではなく、
患者さんのご希望も考慮して決定されます。
気になることがありましたら、
主治医または薬剤師にご相談ください。

2) 柴田寛子ほか .: 薬局 . 2014; 65: 2365-2369

潰瘍性大腸炎治療　症状チェックシート

気になる症状はありませんか？
現在の症状に一番近い点数を0～10点でつけて、主治医の先生に相談してみましょう。

気にならない ← → 気になる

0　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10

坐剤または注腸剤を使った回数を記入しましょう

日付	注腸の回数（回数を記入してください）	便回数（点数を記入してください）	血便	腹痛	便意切迫感※1	しぶり腹※2
●／▲	2	6	1	2	8	2

日付を記入しましょう

それぞれの症状に点数をつけましょう

日付	注腸の回数（回数を記入してください）	便回数（点数を記入してください）	血便	腹痛	便意切迫感※1	しぶり腹※2
／						
／						
／						
／						
／						

※１　便意切迫感：急に強い便意が起こり、我慢することが難しい状態
※２　しぶり腹：便意があるのに便が出ない、または便が出ても少量しか出ないという状態

潰瘍性大腸炎治療　症状チェックシート

気にならない ← → 気になる

0　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10

日付	注腸の回数（回数を記入してください）	便回数（点数を記入してください）	血便	腹痛	便意切迫感※1	しぶり腹※2
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						

日付	注腸の回数 （回数を記入してください）	便回数 （点数を記入してください）	血便	腹痛	便意切迫感※1	しぶり腹※2
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						

※１　便意切迫感：急に強い便意が起こり、我慢することが難しい状態
※２　しぶり腹：便意があるのに便が出ない、または便が出ても少量しか出ないという状態

キッセイ薬品工業株式会社

RB020A
2021年10月作成